

連合自治会の活動紹介（加入促進部）



9月23日（土）にSAIJO BASE（旧こどもの国）で開催された不動産フェアに、西条市連合自治会で“自治会加入促進ブース”を出展しました。

当日は、自治会の加入呼びかけを行うとともに、今後の部会の活動の参考とするため、加入促進アンケートを実施いたしました。

今回実施したアンケート調査では自治会の加入、未加入に関わらず幅広い年齢層の方から回答を得ることができました。

11月5日（日）の「はとマルシェ」でも同様のアンケートを実施し、「魅力のある自治会」を目指して、地域の特性に応じた自治活動を推進していきたいと思っております。



～未来に伝えたい、伝統文化・自然～

笹ヶ峠の清掃活動

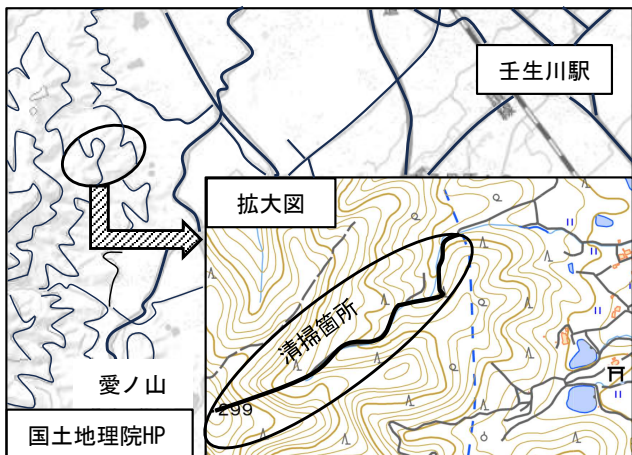
吉岡校区 安用自治会

豊かな自然に恵まれている吉岡校区安用地区では、自治会が中心となり笹ヶ峠（地元では通称「しろのっさん」）を含めた地域の自然を守るための活動を行っています。

その一つが笹ヶ峠の山道の草刈りで、毎年お盆明けの日曜日に実施しています。この山道は防火線を兼ねており、毎年の活動が自然保護のみならず、地域防災にも貢献できていることとなります。

また、草刈りのタイミングで、この山のお社の注連縄を交換しています。数十年前は子供等が遊び場に使っていたということですが、今では訪れる人もなくひっそりと佇んでいます。協議員の中には「子どもの時以来久し振りだ」という人、若い方では「初めて来た」という人もいます。

毎年の自然を守る活動が、里山とは言え、協議員にならない限り行くことがない、という場所を知ることにもなり、地域文化の継承にも繋がっています。



8月15日はお盆であり、田滝地区の盆踊り大会の日です。今年は、四年ぶりの開催でしたが、悪天候のため体育館で行いました。早朝から、地域の各種団体役員による会場づくり、PTAはバザーの準備と、久しぶりの盆踊りムードの盛り上がり、大変感激しました。また、田滝地区では、一般的な手踊りの他に、地域の伝統芸能で県の無形文化財にも指定されている「お簾（れん）踊り」を踊ります。今回も、お簾踊り保存会のメンバーを中心に、小学生からお年寄りまで、また、地区外の人々も二本の扇子を持ち、体育館一杯に輪になり大変優雅に踊っていただきました。

お簾踊りは四百年余りの歴史があり、その由来は『昔、大日照りの時、大雨乞いをし、一心に黒滝の御前に祝詞（のりと）を上げてお願いし、雨乞いの踊りをささげ、何としても、雨を降らし給えと昼夜をかけて、祈り踊るとき、不思議や、風もないのに神前の珠簾（しゅれん）が、動くと見るやにわか一天かき曇り黒雲が舞い降り、たちまちにして雷鳴が轟き大嵐に等しき、大雨が車軸を流す如く、神の恵みにより雨乞い踊りの名を「御簾踊り」と言われるようになった』と伝えられています。

このように、伝統ある「お簾踊り」を守り伝えていくことが、私たちの責務であり、この田滝にしかないことを誇りに思います。少子高齢化のなか、行事一つ行うにも大変難しいですが、現在行っている「明日の田滝を考える会」（地域自治組織）のように、地域の各種団体で話し合っ、協力しながら行事や伝統を継承していきたいと思ひます。



とうどさん建立

小松地区 南川自治会

南川自治会では、有志の方々の協力により、毎年小松中学校プール上にある田んぼに12月中旬頃「とうどさん」を建立しています。竹で円すい形に骨組みを作り、恵方の方向に入口を作り藁を全体に巻いて完成となります。そして、1月15日（旧正月）にしめ縄とともにはやします。残り火でお餅を焼いて食べると病気になるないという言い伝えがあるそうです。自治会としては一年でも長く続くことを願っています。



★★～～令和5年度 西条市連合自治会の予定～～★★

10月31日（火） 自治会長研修（会場：西条市中央公民館多目的ホール）

11月5日（日） はとマルシェ（会場：西条商工会議所東予支所）

※詳細は連合自治会広報部事務局までお問合せ下さい。